



Weekly Report Rotary

福島中央RC 福島中央ロータリークラブ会報



事務局 〒960-8051 福島市首根田町4-22 TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com http:fukushimachuo-rc.com/

会長あいさつ

2024-25年度会長 佐藤 信雄



12月は「疾病予防と治療」月間です。

ロータリーは、マラリア・エイズ/HIV・アルツハイマー型認知症・糖尿病など様々な疾病の予防と治療に携わっています。また貧困地域の人々を対象とした聴覚・眼科・歯科検診も実施しています

「疾病の闘い」では、患者の直接的なサポートだけでなく、地域社会全体のキャパシティを高めることに専念しています。

- ① 地元の保健従事者を対象とした医療ワークショップの開催
 - ② 地元の医療・保健のインフラを向上するプロジェクトの実施
 - ③ 主な疾病の拡散を防ぐための地域住民の啓発・動員
 - ④ 疾病予防・治療分野でのキャリア構築を目指す学生への各種サポート
- その他

ロータリーには「疾病との闘い」分野で活動する13のロータリアングループがありますので、この分野でのプロジェクトを実施するには、これらのグループと協力することができます。そして、このグループの中に「安全な水の提供と衛生」があります。タクロバンロータリークラブから「井戸の整備と浄水設備の設置」への協力依頼が来ており、グローバル補助金を活用して支援できないものかと考えております。このプロジェクトは今後、調査・研究・検討をしなければならない諸課題があります。これらを明らかにし、理事会に諮っていきたいと考えております。

本日、「シェア・ラブ・チャリティーの会」理事で福島南RC会員のオカンポ メリッサ ブラザさんのタクロバンRCお話を頂き参考にさせて頂きたいと思っております。メリッサさんよろしくお願いいたします。

先日、東京六本木RCからお土産が届きましたので、皆様のお手元に準備しました。「佃煮」で賞味期限が1月1日となっておりますので、お早めにお召し上がりください。

また、受付のテーブルに高崎RCの田中久夫氏の著書「ロータリークラブに入ろう」を準備しました。大変読みやすく分かりやすい本です。皆様に差し上げますので、是非お読みいただきたいと思います。特に若い会員の方は是非お読みいただきたいと思います。足りなかったら私まで申し出てください。早々に手配します。



東京六本木RC様より佃煮



2024年12月11日(水)

第18回(通算1605回)

福島県教育会館

「年次総会」

例会次第

会場準備～クラブ研修委員会

- ◆開会点鐘 佐藤 信雄会長
ソングリーダー 坂本 和司会員



- ◆福島中央RCビジョン・目標の唱和
戦力計画委員会 佐藤 元彦委員長
- ◆お客様、来訪ロータリアンの紹介
・オカンポ メリッサ ブラザ様(福島南RC)
- ◆会長あいさつ 佐藤 信雄会長
- ◆オカンポ メリッサ ブラザ様より
グローバル補助金の活用
(タクロバンロータリークラブ訪問報告)
- ◆お食事をどうぞ



- ◆幹事報告 多田 憲司幹事
- ◆各委員会報告
 - ・ロータリーの友の紹介
雑誌委員会 亀岡 政雄委員長
 - ・ニコニコBOX委員会報告
植木 博隆委員

◆2024-25年次総会

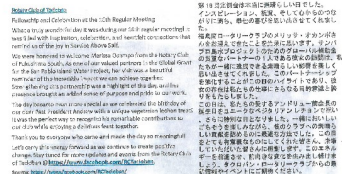
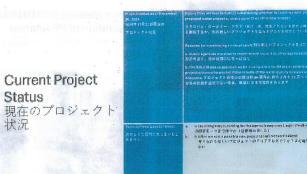
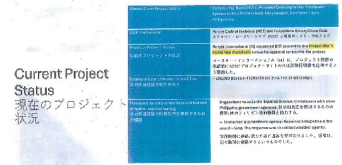


- ◆クラブ協議会
各委員会委員長より上半期の報告
- ◆閉会点鐘 佐藤 信雄会長

グローバル補助金の活用

(タクロバンロータリークラブ訪問報告)

福島南ロータリークラブ
オカンポ メリッサ ブラザ様



●クラブ協議会 各委員会委員長より上半期の報告●



クラブ戦略計画委員会

佐藤 元彦委員長

今年度の戦略計画委員会は上期にて、2回開催をしました。
戦略計画委員会は、5年後・10年後のクラブのあるべき姿を想定し、今あるべきクラブ運営について協議を行い実行する為にどうしたらいいのかを考えて行く委員会です。
今年から、RIにおいて3年分の目標設定を行い、次の年度に目標の達成状況を確認した上で、さらに3年分の目標設定を繰り返す事となっています。

併せて、My Rotaryのクラブセントラルでの目標設定が、例年では当該年度の目標設定を1年分設定し、年度を終えたら何項目の目標をクリアできたかを判定し次年度において、クラブ表彰を行われていましたが、今年度より3年分の目標を入力する事に変更されています。昨日、佐藤信雄会長と一緒に、当クラブの目標設定について入力を終わりました。

現在当クラブが抱える一番の問題は、会員の減少です。
下期には、2回以上の委員会を開催し、戦略計画委員会において、会員増強委員会と連携を取り、3年後には50名の会員数に戻す事を目標にし、この目標を実行する為にはどうすれば良いかについて委員会にて、協議を重ねて行きたいと考えています。



クラブ管理運営委員会

矢野 宏行委員長

出席率については毎回ニコニコボックス委員会の報告の際に発表いただいておりますが、おおむね60%前後で推移しています。出席はロータリー会員の義務になっていますが、後半は、毎

月のプログラムの例会内容にコメントを入れ、どんな例会を開催するのか、その概要を入れることで少しでも出席を促す工夫をしたいと思います。親睦委員会においては、大澤委員長中心に月1回のペースで夜間の例会を開催し、例会を通じて会員間の親睦を図っていますが、来週18日は、年忘れ家族例会となっています。多くの会員、家族の出席をお待ちしております。簡単ですが、委員会としての前期報告に代えます。



会員増強委員会/ R研修・情報教育委員会

箭内 一典委員長

会員増強委員会とクラブ研修・情報教育委員会の報告をさせていただきます。

会員増強委員会としては、8月7日の例会で地区会員増強セミナーの報告をさせていただきました。また、10月9日には地区会員増強委員会の伊東優子さんを招き、スピーチをお願いいたしました。

さて、現在の会員数は43名で、7月1日との比較ではプラス3名となっております。

会社の人事異動で民友新聞の菊池克彦さん、東邦銀行方木田支店の遠藤幸喜さんが6月に退会しましたが、その後任として石橋

真一会員、佐々木臣樹会員にそれぞれ入会していただきました。また、事務局の鈴木美恵さんのご紹介で、新たに福島トヨタの川瀬哲雄会員に入会して頂く事ができました。

次に、皆様に強くお願いしている会員候補者推薦の件ですが、5名の会員から合計14名の推薦が上っております。これまでに山田直前会長と一緒に6名と接触しましたが、現在2名が入会考慮中という状況です。

福島RCや福島南RC、あるいは福島北RCの複数の若手会員から、既に入会の誘いを受けている人も多く見られましたので、当クラブも会員全員で増強に取り組まないと、会員減少に歯止めが掛からない状況だと思えます。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

次に、クラブ研修・情報委員会としては、今年度入会された会員と若手の方を対象に、2月に益蔵で懇談会を開催したいと思います。ご連絡を受けた方は参加の程宜しく申し上げます。



公共イメージ委員会

梅津 寿光委員長

公共イメージ委員会は、クラブ会報・広報・IT委員会と雑誌委員会と組織されています。

今年度の公共イメージ委員会の最大の活動目標は会報誌の内製化でした。会報誌を外部に委託することなく、全てクラブ内で完結して発行する。そして今までの紙ベースの会報誌は原則廃止、電子化を推し進める。これは勿論クラブの緊縮財政の中での

予算削減を目的にした佐藤 信雄会長の方針に基づいたものです。お陰様で会員の皆様と事務局の鈴木さんの協力の下、現在まで遅滞なく無事会報誌を発行できております。雑誌委員会については、今年も「ロータリーの友」をメンバーが輪番制にて例会時に紹介致しております。ただ外部へのクラブの活動内容を外部に発信するという点では、クラブの対外事業が現在まで行われていないことから十分ではございません。以上が今年度前半の総括であります。これまで、おおむね順調に活動計画をこなしております。年度後半も皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ロータリー財団・米山委員会

渡邊 英世委員長

【ロータリー財団・米山記念奨学会委員会】

ロータリー財団は、国際的な大組織であり、その多くの功績は個々のロータリアン、クラブ、地区の尽力によるものです。世界理解と平和の達成を目指す私たちの使命は、ロータリアンの弛まぬ活動と献身によってのみ達成することのできる崇高な目標です。毎年、国際ロータリー会長がロータリアンの目標を具体的に示す方法として、一つのテーマを選ぶ一方、ロータリー財団管理委員長は、財団の年次目標を定めます。

目標設定は、私たちが優先事項を決め、組織的に計画を練り、重大な決断を下し、夢を実現するための手だてとなります。目標が具体的に組みやすく、達成可能なものであるなら、それは人々の意欲を喚起し、やり遂げる意思を育む力を秘めています。

そこで今年度の国際ロータリー会長、ステファニーA.アーチツ

クのテーマは「ロータリーのマジック」です。第2530地区ガバナール早川敬介様の地区目標にむかって5ヶ月が過ぎました。残り半年です。よろしくお願いします。

また、米山奨学会委員会では、地区、分区分とクラブ会長の掲げる中央ロータリークラブの目標に向かって一年間行っておりま。R財団・米山委員会の皆様方としっかり手を取り合って頑張っていきますので、全会員の皆様方ご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【ロータリー財団委員会】

本年度の地区目標は以下4点となっております。

- ① 年次基金 一人\$ 150
 - ② Polio Puls 一人 \$ 30
 - ③ ベネファクター(恒久基金寄付\$1,000以上) 各クラブ 1名
 - ④ 「寄付ゼロクラブ」ゼロの達成上記の目標となっております。
- クラブにおいては、目標達成と財団寄付金の積極的活用を目指したいと思っておりますので 会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



年次総会

会長エレクトあいさつ
鈴木 努会長エレクト

ただいま、来期の理事・役員をご承認いただきました。早速、来期の活動に向けて準備を進めてまいりたいと思います。理事・会員の皆様のご協力をいただきまして、いろいろと活動していきたいと思っています。

皆様、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

尚、委員会の小委員会につきましては、理事会にお任せいただければと存じます。



幹事報告 多田 憲司幹事

- 1) 次週12月18日(水)の例会は、18:30～ウェディング エルティにて「年忘れ家族例会・RAC合同例会」です。オークションとBIGOの賞品は当日まで受付しております。会場の都合により当日の準備が17:00開始となります。社会・国際奉仕プロジェクト委員会、ニコニコBOX委員会、親睦委員会以外の方も、準備のお手伝いをよろしくお願い申し上げます。皆様はぜひご家族おそろいでご参加下さい。



ロータリーの友の紹介

雑誌委員会
亀岡 政雄委員長

【横組みページ】

P07 12月は「疾病予防と治療月間」です。

日本の地域医療について、多くのページを割き、書かれています。医師の地域間格差はこれからさらに問題となり、地方住民の健康リスクを高めてしまいます。一方で、遠隔医療技術は進み、地方の患者にも質の高い医療を提供できるようになってきています。

P20 「私のロータリーのマジック」のコーナーに仙台泉ロータリークラブの菅原裕典さんが寄稿しています。

東日本大震災で両親を失った震災孤児を支援するために、所属クラブの仲間とともに、NPO法人を作り、宮城県で震災で両親を亡くした子供たちの為に、子供たちを支える活動をされています。

【縦組ページ】

縦P4 「白血病サバイバーの小澤由美」さんがご自身について書かれています。

現代では不治の病ではなくなった白血病。白血病だけではなく、病気とともに生きていくため、周囲の理解と、そしていかに自分を保っていくのかと、命について考える記事となっております。

本日の出席率

会員数	43名
出席者総数	24名
うち出席免除会員出席	3/5名
出席率	58.5%

ニコニコBOX委員会報告 植木 博隆委員



■オカンポ・メリッサ・ブラザ様(福島南RC)
「Let's weave the magic of friendship」
(友情の魔法を紡ごう)

■佐藤 信雄会長

オカンポ・メリッサ・ブラザさん
本日はフィリピンのお話よろしくお願いいたします。

オカンポ メリッサ ブラザ様よりご投入いただきました。

安藤 正道	亀岡 政雄	坂本 和司	鈴木 努
石橋 真一	川瀬 哲雄	多田 憲司	多田 憲司
植木 博隆	菅野 幸一	佐藤 信雄	箭内 一典
梅津 寿光	熊坂 友好	佐藤 元彦	山田 稔
大出 隆秀	小林 潤子	佐藤 龍史	渡部九二五郎
鍛冶 輝雄	斎藤 高紀	穴戸 宏行	渡邊 英世

目標 200万円

本日の投入額 25件 34,000円
累計 618,353円